

ある45歳の男性の事例

主訴：6年前に起きた脳卒中後の半身麻痺と開頭手術後、ほぼ3ヶ月毎に起きるけいれん発作のことで相談に来られました。

抗けいれん剤を毎日飲み続けていますが、時々発作は起きます。発作のたびに投薬量が増えてしまったせいで、その副作用によって頭がボーとしてしまい、仕事はもちろん日常生活にも支障が出ています。

2時間ほどかけて個人セッションした結果、以下のことが確認できました。

(ホメオパシー的観点で情報を整理してみました)

精神・感情面のポイント

発症前にしていた会社の仕事は、自分が心からしたいものではなかったために何度か辞めたいと考えていたが、収入がなくなるのは怖いし、他に特にしたいこともないので、趣味（仲間との芝居や家族旅行など）で自分の気持ちを紛わせながら、何とか会社生活を続けてきました。

自分の思うようにならないとイライラすることはありましたが、普段は感情を表に出すほどのこともなく、大きな人間関係の問題もなく平穏に暮らしてきたと思っています。

性格的には、細かなことが気に掛かり、何でもキチンキチンとしないと気が済まない完璧主義的なところがあります。必要以上に先々の悪い予想をしては不安・心配になりがちな性向もあります。

子供の頃から怖がり。特に怖いのは死ぬことと一人でいること。

子供時代から、泥棒を異常に怖がり、泥棒ににらまれて身体が動かなくなる夢を何度も見ました。現在は痙攣発作が起きたらどうしよう、倒れて死ぬのではないかとひどく怖れています。不安や恐れを感じるとなぜか（居ても立ってもいられないような）落ち着かない感じになります。

基本体質 暑がり。喉の渇きはあまりない。汗もあまりかかない。

食べ物・飲み物の好き嫌いなど

子供の頃からずっと、冷たい飲み物はとても苦手で、暖かい飲み物が大好き。

病歴の確認（現在もある）

子供の頃は喘息で毎年決まったように7月下旬の深夜1時頃に発作が起きていた。

風邪の時など胃腸に不調が起きやすい。風邪をひくとしばしば下痢と嘔吐が同時に起きる。そういうひどい胃腸風邪を1年に1回ペースでひいてきた。

以上